



## 「豆子」という地名の由来は？

地名の由来は諸説あり、主な説として以下が挙げられる。

- ① 「三浦厨子城」より厨子。
- ② 延命寺の地藏尊（伝行基作）を安置する厨子から（『新編相模国風土記稿』他）。
- ③ 天正年間（1573-92）、荘園に属する豆師（凶師）が住んでいたことから（『大日本地名辞書』他）。
- ④ 道が交差し人が集まる交通の要衝、<sup>すし</sup>辻子のこと（『日本地名ルーツ辞典』他）。

## 資料に見る「ずし(づし)」の意味

### 【辻子・凶子】

都市の既設道路間を連結する小道、小路、横町、路地。また、その道を中心とした地域、町。奈良、鎌倉にも見えるが、特に京都において平安末期から現れた。

### 【厨子】

<sup>ちぶつ</sup>秘仏や持仏や琴などを納めるのに用いる木製箱状の用具。前面に両開きの扉を付け、全体に漆を塗り、蒔絵を施したり金箔を押ししたりする。

### 【凶師】

<sup>こくが</sup> <sup>てんざ</sup>国衙や荘園において、田凶・凶帳・検注帳などの作成に当たった役人。検地にも立ち会った。

### 【豆師】

豆は昔、食物などを盛る木製の祭器であり、豆師はこれを作る職人。

### 【豆子】

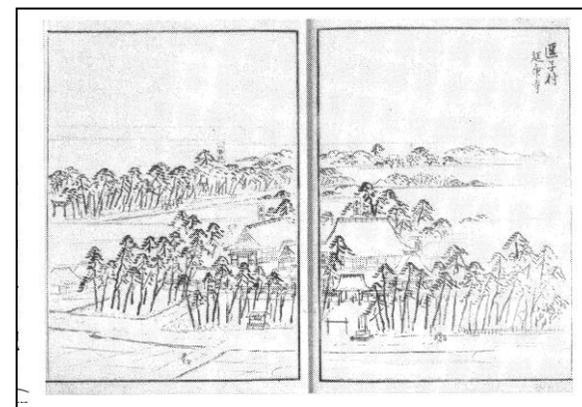
僧家で多く用いられた漆塗りの木椀。

参考資料 『角川古語大辞典 第4巻』 角川書店 1994 R 813 カ 4  
『岩波古語辞典 補訂版』 岩波書店 1990 R 813 イ  
『豆子市史 通史編』 豆子市 1997 213.7 ス

豆子市に関するレファレンス事例は、豆子市立図書館ホームページで閲覧できます。

<https://www.library.city.zushi.lg.jp>

## 地名「豆子」の由来



『豆子市史 通史編』 豆子市 1997  
江戸時代の豆子村延命寺（相中留恩記略より）

豆子市立図書館  
046-871-5998  
2014年5月発行

## 資料紹介

逗子市立図書館の蔵書検索結果の一部をご紹介します。

本の情報	場所	請求記号
<b>『逗子町誌 改訂』</b> 改訂逗子町誌刊行会編集 1974 ※p35-36 ①『風土記』「天正十八年、北条氏の文書には豆師、正保の改には豆子と載す。「三浦厨子城」から「厨子」。②延命寺の地蔵尊(伝行基作)を安置する「厨子」から。③『大日本地名辞書』吉田東伍。「豆師」は図師の訛か、中代の荘田菅司の給人職名に見ゆ。	2階 郷土資料コーナー カウンター ※書庫・小坪・沼間 にもあり	Z 29.Z ス P 213.7 カ
<b>『逗子道の辺史話 第13集』</b> 逗子道の辺史話の会 1982 ※p11-12 『逗子町誌』記載の説に加え、『日本の地名』松尾俊郎によると、「逗子」は辻(ツジ)に起源すると解釈し、交通の要衝であった「逗子」は道にゆかりの地名と考えるのが妥当としている。	1階 児童コーナー 2階 カウンター	P 21 ス 13 213.7 ス 13
<b>『新編相模国風土記 第5集』</b> 谷野遠 1888 ※三浦郡卷之三の十 『逗子町誌』の典拠(明治21年刊)。	2階 郷土資料コーナー	Z 29.A シ 5
<b>『日本地名ルーツ辞典－歴史と文化を探る－』</b> 創拓社 1992 ※p273-274 地名の由来について諸説紹介するが、逗子の地形からみて「辻」説を有力としている。	2階 参考資料コーナー	R 291 ニ

<b>『逗子市誌 第2集』 古老を囲んで</b> 逗子教育研究会研究調査部編集 逗子市 1956 ※p20 『逗子町誌』記載の説に加え、逗子はツジ(交通の要衝)という意味で、三浦半島の頸部にあり、横断道との交叉点にあるために出た名であろうという浅香幸雄博士の説を紹介。	2階 郷土資料コーナー ※書庫・小坪・沼間 にもあり	Z 29.Z ス 2-1 P 213.7 ス 2-1
<b>『日本歴史地名大系 14』 神奈川県地名</b> 平凡社 1984 ※p369 逗子は、豆師・図師・厨子・豆子の字があてられ、俗説では延命寺の延命地蔵尊の厨子からでた地名という。	2階 郷土資料コーナー 参考図書コーナー ※小坪・沼間にもあり	Z 29.A ニ 14 R 291 ニ 14
<b>『手帳 169号』</b> 手帳の会編 手帳の会 2001 ※p64-65 ①延命寺の厨子から。②図師(中世荘園制度で田畑の面積を図で書き留める役人)たちの住まいのあったところから。③道が交差する辻から。	書庫	Z 05.Z テ 01
<b>『逗子市内の地名調査報告書』</b> 逗子市地名調査研究会編集 逗子市教育委員会 1998 ※p62 地名の由来について諸説列挙。	2階 郷土資料コーナー カウンター ※書庫にもあり	291.3 ス Z 29.Z ス
<b>『逗子市史 通史編』</b> 通史編 古代・中世・近世・近現代編 逗子市 1997 ※p13-15 「逗子」地名の由来について諸説紹介。「逗子」は江戸から使用。戦国期頃には「豆師」、「厨子」、「図師」、「厨子」のような字があてられたとある。	2階 郷土資料コーナー カウンター ※書庫にもあり	213.7 ス P 213.7 ス Z 21.Z ス